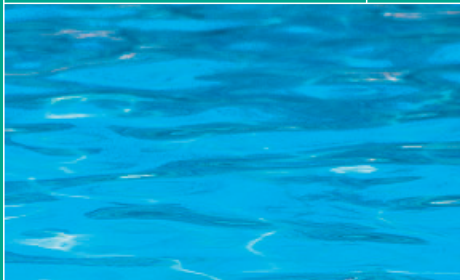




第54期 中間事業報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



[我が社の基本理念]

われわれは、常に一流を指向し、内に礼節、勤勉、誠実を心がけ、積極果敢に行動します。

- 一、常に需要の動向を的確にとらえ、より良い製品、サービスを提供します。
- 一、顧客に奉仕し、明るい職場環境をつくり、従業員の生活向上を図ります。
- 一、限らない情熱と、たゆまぬ努力を重ね、企業の発展を期し社会のために尽します。



加賀工場

ISO 9001 / 14001



QUALITY SYSTEM
JQA-3152



ENVIRONMENTAL SYSTEM
JQA-EM1362
(本社・工場)

品質方針

- ・ユーザーニーズに的確に対応した品質の、製品、サービスを提供し、お客様の永続的な満足と信頼を得る。
- ・品質マネジメントシステムの継続的改善を図る。

環境理念

小松ウオールは、かけがえのない地球環境を守るため「企業活動と環境保全の調和」を経営の重要課題のひとつとして捉え、地球環境保全の活動を通して社会に貢献します。



代表取締役社長

加納 裕

1 会社の経営の基本方針

当社は、間仕切の専門メーカーとして、ビルの高層化・建物の工期短縮という建設業界の要請に即して、受注から設計、製造、販売、施工、サービスまでの「自社一貫システム」をもって、様々な新製品を社会に送り出し高い評価を得てまいりました。今後においても当社の専門分野である間仕切関連製品を中心に、新製品の開発、サービスの向上を通じて、着実な業容の拡大と安定した収益を継続して上げることにより、取引先・従業員・株主との共存共栄を図って社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

2 会社の利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様へ利益還元を行うことが最も重要であると考えており、収益状況に対応した上で、株主還元の実現を図り、安定配当を継続すること、また、その一方で、当社の持続的な成長のための成長投資に備えて、財務体質の健全性を維持することを基本方針としております。これらは中長期的な企業価値の向上、安定配当を通じて、株主の皆様へ利益還元できるものと考えております。

3 目標とする経営指標

当社が目標としている経営指標は、売上高経常利益率10%以上及び総資産経常利益率10%以上であります。

す。これらは事業効率向上と株主価値の最大化を図るための資本効率の向上を目指したものであり、継続的に達成できる体質を目指しております。この目標達成のために具体的には、徹底した自動化、工数低減、効率の高い設備投資等により一人当たりの生産性を高めるとともに、創業時より採用している小分割独立採算制度により、従業員一人ひとりが常に利益を意識した活動をしてまいりました。なお、業容拡大を見据えて数年来実施してきた人材確保及び設備投資が一段落し、売上高経常利益率は10.1%（前事業年度比1.2ポイント上昇）、総資産経常利益率は9.3%（前事業年度比1.2ポイント上昇）と改善いたしました。当社が掲げている経営指標を2期以上続けて達成できるように努めてまいります。

今後も目標達成に向けて諸施策を実施し、業績及び株主価値の向上を図ってまいります。

4 中長期的な会社の経営戦略

今後の間仕切業界は、頻発する地震、大雨等の自然災害から、建物・建築物への関心が高まり、間仕切製品に対する顧客ニーズも多様化、高度化することが考えられます。

このような状況下において、当社事業の主力製品である可動間仕切と当社の強みである大型移動壁の受注、販売に注力するとともに、間仕切関連製品であるドア製品等の固定間仕切、トイレブースにおいても顧客

ニーズに対応した製品を供給し、拡販してまいります。なお、当社の経営の基本方針である着実な業容拡大と安定した収益確保のために、以下のように計画を策定し実施してまいります。

- ①比較的納期の長い建設会社様から直接受注する直販と、比較的納期の短い代理店様経由で販売するルート販売のバランスを取りながら安定した売上を目指します。
- ②ここ数年來の従業員の採用により、世代交代が進行しておりますが、営業地域間の販売製品のバラつき、営業成績の格差等が発生しており、この解消を図るため、本社関連部門主催の各種研修会を開催し、製品知識、技術的知識、施工技術等の教育に注力してまいります。また、営業拠点につきましても、顧客サービス向上のため、新事務所への移転を計画しています。
- ③社内情報システムの再構築により、加賀工場をはじめとする既存工場の繁閑を最小限とするとともに、各種合理化により、生産体制の効率化、生産性の向上を図ります。

5 会社の対処すべき課題

当社では、収益重視の経営を基本とし、今後も収益確保に努め、業績拡大に取り組んでまいります。また、管理体制面では、内部統制システムを一層強化するとともに、経営の公正性、透明性及び効率性を高め、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に努めてまいります。

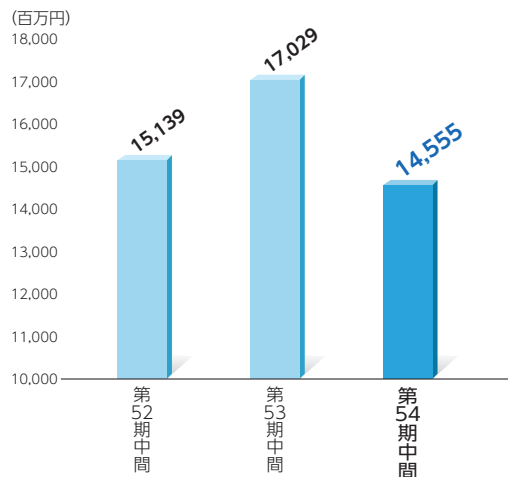
1. 経営成績

1 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動の停滞が継続しており、一部に経済活動の回復に向けた動きも見られますが、依然として厳しい状況にあります。

このような状況にあって当社は、従業員の安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ事業活動を展開してまいりました。生産部門においては、業務スペース分散など感染リスク低減を図りつつ、業務を継続できる体制を維持してまいりました。営業部門においては、設計事務所へのアプローチを強化したことにより、設計指定額が堅調に増えている一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて受注活動の停滞は避けられず、また当初見込んでいた工事の受注時期が遅れる等影響が出ていることもあり、厳しい事業環境で推

■ 売上高



営業の概況

移しました。

当中間期の経営成績につきましては、上記の状況から官公庁向け、民間向けともに大都市圏を中心に低調に推移いたしました。

売上高全体としては、145億55百万円となり、前年同期と比較して14.5%の減少となりました。受注残高におきましては、前年同期比7.7%の減少となっております。

利益面につきましては、減収による影響を業務の効率化等で補うことができず、売上総利益率は33.9%（前年同期比1.3ポイント悪化）となり、また、販売費及び一般管理費の節減に努めたものの、営業利益は4億53百万円（前年同期比68.3%減）、経常利益は5億5百万円（前年同期比65.0%減）、中間純利益は3億4百万円（前年同期比67.0%減）となりました。

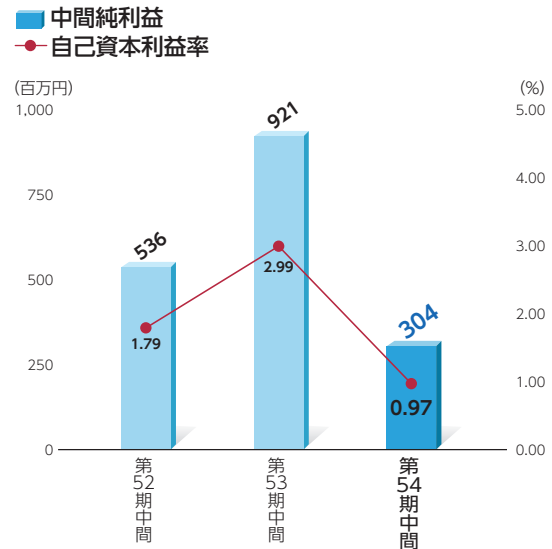
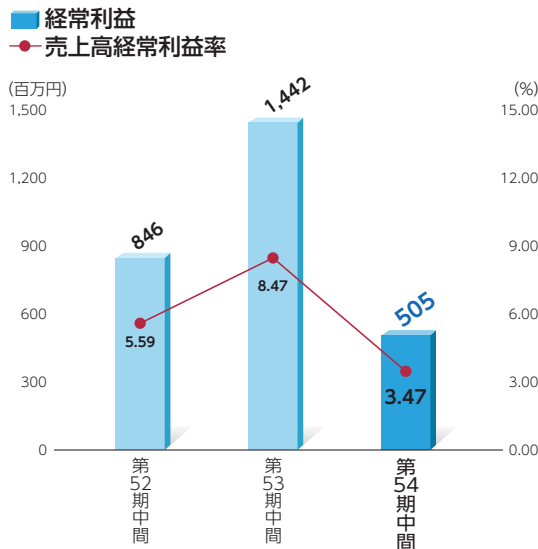
2 配当金の状況

当中間期の配当につきましては、10月22日開催の取締役会におきまして、1株当たり40円00銭と決めさせていただきました。

3 通期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の落ち込みや生産活動の停滞等、その影響の予測が難しい状況となっており、経営環境は大きく変化するものと予想されます。

このような状況にあつて当社は、お客様により近く、よりスピーディーに製品、サービスの提供をするため、顧客ニーズに対応した営業活動を推進し、当社の特長である「設計指定活動」による受注活動を推し進め、受注から設計、製造、販売、施工、サービスまでの「自社一貫システム」を活かして、より多くの製品を迅速に提供してまいります。また、首都圏を中心とする都市再開発事業等が進



営業の概況

行する中、新型コロナウイルス感染拡大による工事進捗状況への影響は懸念されるものの、需要に對し着実に成果を上げるべく、人材の教育・育成を積極的に進め、更なる経営の効率化を図り、業績の拡大に努めてまいります。

これらの状況と受注残高の消化等を考慮し、通期の業績予想としまして、売上高330億円、営業利益15億円、経常利益15億80百万円、当期純利益10億円を見込んでおります。

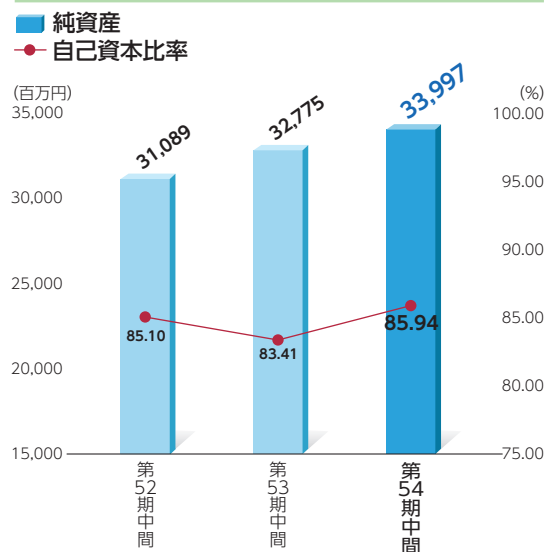
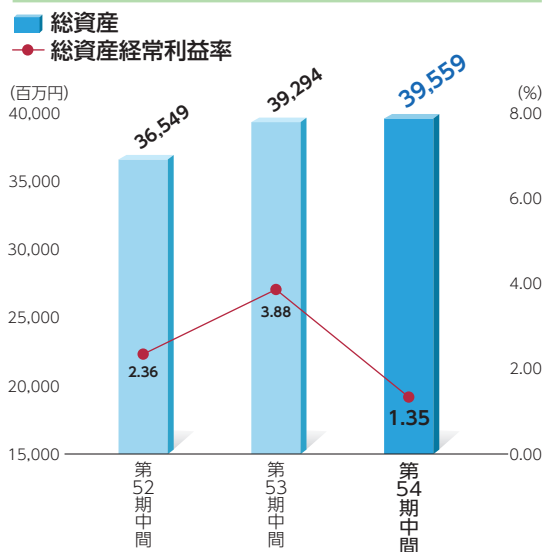
2.財政状態

1 資産、負債、純資産の状況

当中間期の末日における財政状態は、総資産は395億59百万円となり、前事業年度末と比較して17億92百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は249億19百万円となり、前事業年度末と比較して15億21百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金26億24百万円等の増加と、受取手形及び売掛金31億92百万円、電子記録債権9億97百万円の減少によるものであります。固定資産は146億40百万円となり、前事業年度末と比較して2億71百万円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる保険積立金2億40百万円等の減少等によるものであります。

負債の部では、流動負債は37億50百万円となり、前事業年度末と比較して18億23百万円の減少となりました。



営業の概況

これは主に、買掛金5億82百万円、未払法人税等5億7百万円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税4億80百万円、賞与引当金1億30百万円等の減少等によるものであります。固定負債は18億11百万円となり、前事業年度末と比較して91百万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は339億97百万円となり、前事業年度末と比較して59百万円の減少となりました。以上の結果、自己資本比率は85.9%となりました。

2 キャッシュ・フローの状況

当中間期におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保の充実を図りつつ、運転資金、設備投資、株主還元等へ資金を充当しております。

その結果、当中間期の末日における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、116億86百万円(前年中間期末は89億74百万円)となりました。なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、31億51百万円(前年中間期は23億80百万円の増加)となりました。これは主に、税引前中間純利益4億83百万円の計上、売上債権の減少額41億89百万円、減価償却費4億84百万円等による増加と、法人税等の支払額6億25百万円、仕入債務の減少額5億82百万円等による減少によるものであります。

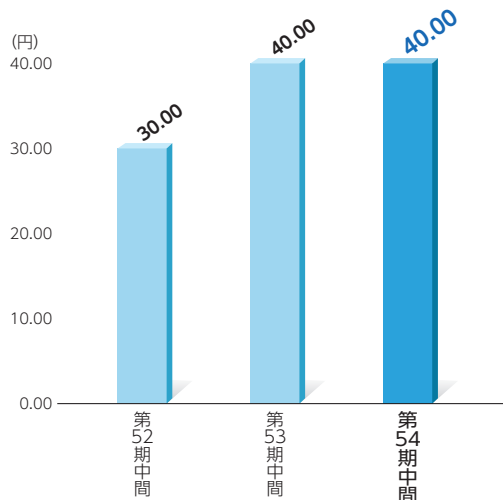
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、0百万円(前年中間期は19億25百万円の減少)となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入2億83百万円、定期預金の預入及び払戻による純収入1億円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出4億22百万円によるものであります。

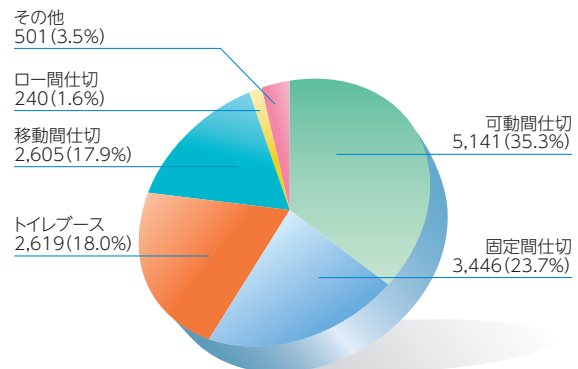
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、4億25百万円(前年中間期は3億77百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

1株当たり中間配当金



品目別売上高構成比 (単位: 百万円)



財務諸表

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第52期中間 (2018年9月30日現在)	第53期中間 (2019年9月30日現在)	第54期中間 (2020年9月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	21,790	24,920	24,919
現金及び預金	11,433	12,974	15,086
受取手形及び売掛金	7,903	9,126	7,270
電子記録債権	1,550	1,762	1,593
たな卸資産	817	911	781
その他	84	145	186
貸倒引当金	△ 0	－	－
固定資産	14,759	14,374	14,640
有形固定資産	12,140	11,704	11,904
建物及び構築物	9,997	10,082	10,544
機械装置及び運搬具	6,618	6,748	7,142
土地	4,663	4,663	4,646
その他	1,035	1,140	1,272
減価償却累計額	△ 10,175	△ 10,931	△ 11,702
無形固定資産	434	458	484
投資その他の資産	2,184	2,211	2,251
その他	2,195	2,219	2,259
貸倒引当金	△ 10	△ 8	△ 7
資産合計	36,549	39,294	39,559

科目	第52期中間 (2018年9月30日現在)	第53期中間 (2019年9月30日現在)	第54期中間 (2020年9月30日現在)
(負債の部)			
流動負債	4,009	4,875	3,750
買掛金	1,372	1,684	1,379
未払法人税等	420	573	195
賞与引当金	1,044	1,145	965
その他	1,172	1,471	1,210
固定負債	1,450	1,644	1,811
退職給付引当金	1,198	1,331	1,474
役員退職慰労引当金	86	86	86
役員株式給付引当金	94	136	140
その他	70	89	109
負債合計	5,460	6,519	5,561
(純資産の部)			
株主資本	30,947	32,733	33,937
資本金	3,099	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035	3,035
利益剰余金	27,500	29,272	30,430
自己株式	△ 2,688	△ 2,674	△ 2,628
評価・換算差額等	141	42	60
その他有価証券評価差額金	141	42	60
純資産合計	31,089	32,775	33,997
負債・純資産合計	36,549	39,294	39,559

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第52期中間 (自 2018年4月 1 日 至 2018年9月30日)	第53期中間 (自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日)	第54期中間 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)
売 上 高	15,139	17,029	14,555
売 上 原 価	9,880	11,041	9,620
売 上 総 利 益	5,259	5,987	4,935
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,425	4,559	4,482
営 業 利 益	834	1,427	453
営 業 外 収 益	24	24	65
受 取 利 息	0	0	0
受 取 配 当 金	6	6	5
受 取 保 険 金	-	-	39
受 取 家 賃	11	11	11
そ の 他	5	6	8
営 業 外 費 用	11	10	12
売 上 割 引	11	10	12
経 常 利 益	846	1,442	505
特 別 利 益	0	-	-
固 定 資 産 売 却 益	0	-	-
特 別 損 失	0	-	22
固 定 資 産 除 売 却 損	0	-	10
減 損 損 失	-	-	11
税 引 前 中 間 純 利 益	845	1,442	483
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	360	507	137
法 人 税 等 調 整 額	△ 51	13	41
中 間 純 利 益	536	921	304

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第52期中間 (自 2018年4月 1 日 至 2018年9月30日)	第53期中間 (自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日)	第54期中間 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間純利益	845	1,442	483
減価償却費	517	481	484
減損損失	—	—	11
貸倒引当金の増減額(△:減少)	△ 0	△ 2	—
受取利息及び受取配当金	△ 7	△ 6	△ 6
売上債権の増減額(△:増加)	1,672	1,859	4,189
たな卸資産の増減額(△:増加)	△ 211	△ 202	△ 40
仕入債務の増減額(△:減少)	△ 326	△ 328	△ 582
退職給付引当金の増減額(△:減少)	66	65	75
役員株式給付引当金の増減額(△:減少)	20	14	3
その他(純額)	△ 72	△ 189	△ 847
小 計	2,505	3,133	3,770
利息及び配当金の受取額	6	6	6
法人税等の支払額	△ 448	△ 758	△ 625
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,063	2,380	3,151
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 2,400	△ 4,000	△ 3,400
定期預金の払戻による収入	2,000	2,400	3,500
有形固定資産の取得による支出	△ 100	△ 241	△ 349
有形固定資産の売却による収入	0	—	—
無形固定資産の取得による支出	△ 67	△ 68	△ 73
保険積立金の払戻による収入	—	—	283
その他(純額)	3	△ 16	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 565	△ 1,925	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	—	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 329	△ 377	△ 425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 329	△ 377	△ 425
現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	1,168	77	2,724
現金及び現金同等物の期首残高	7,865	8,896	8,962
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,033	8,974	11,686

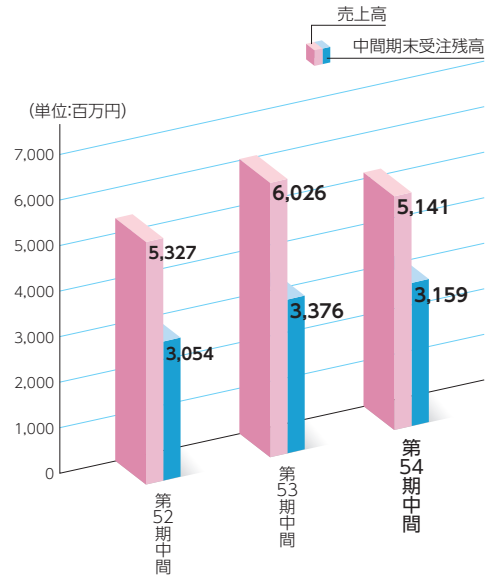
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

可動間仕切

レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、移設が可能な間仕切であります。



マイティ

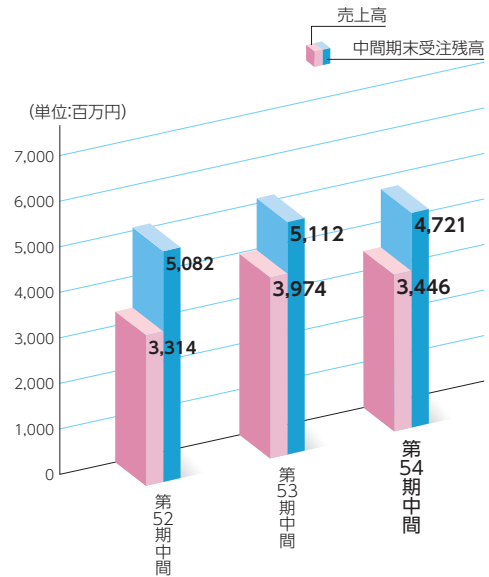


固定間仕切

建物付帯工事として溶接により躯体に取付ける間仕切であります。



カームドア



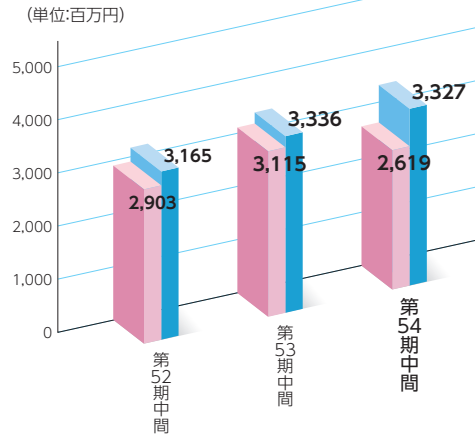
トイレブース

ユニット化したトイレ専用の間仕切であります。



サニティブース

売上高
中間期末受注残高



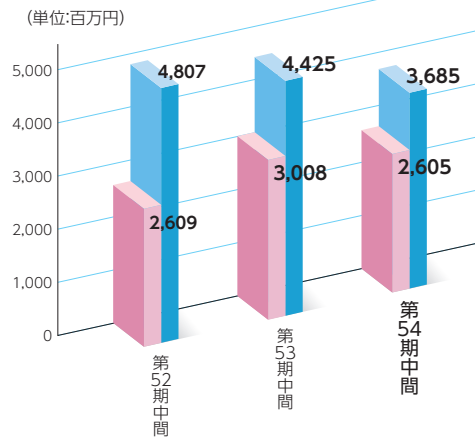
移動間仕切

ホテルの宴会場等の仕切りとして、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。



小松ランニング

売上高
中間期末受注残高



品目別情報

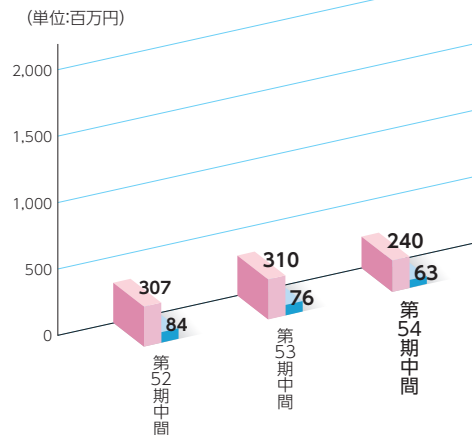
ロー間仕切

主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。



モーリスシステム

売上高
中間期末受注残高



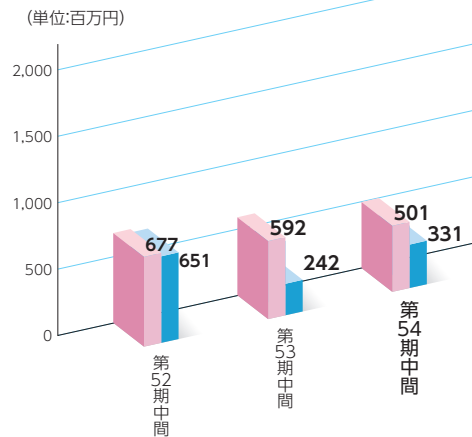
その他

主に、壁面化粧鋼板パネルの金属工事ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。



サーフィスウォール

売上高
中間期末受注残高



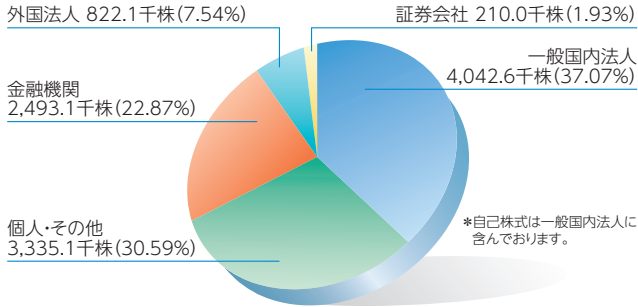
発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	10,903,240株
単元株式数	100株
株主数	6,054名
株主1人当たり平均持株数	1,801株

大株主

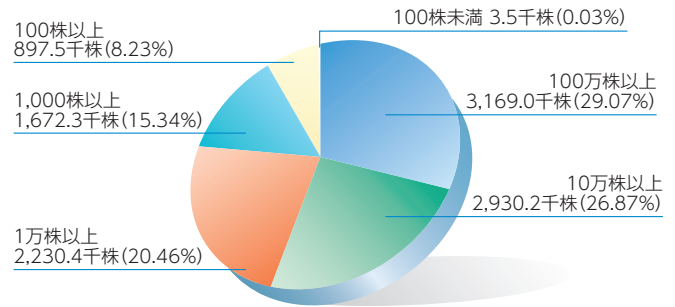
株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
株 式 会 社 加 納 ア ネ シ ス	1,731,849	18.30
株 式 会 社 日 本 カ ス ト デ ィ 銀 行 (信 託 口)	1,171,600	12.38
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 会 社 (信 託 口)	463,600	4.90
株 式 会 社 北 國 銀 行	442,280	4.67
小 松 ウ オ ー ル 工 業 従 業 員 持 株 会	212,940	2.25
有 限 会 社 マ ル ヨ	193,000	2.04
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	156,300	1.65
明 治 安 田 生 命 保 険 相 互 会 社	154,600	1.63
株 式 会 社 北 陸 銀 行	141,600	1.50
北 国 総 合 リ ー ス 株 式 会 社	105,000	1.11

- (注) 1.持株比率は自己株式(1,437,249株)を控除して計算しております。
2.株式会社日本カストディ銀行および日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。
3.株式会社日本カストディ銀行が保有する1,171,600株には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産206,900株が含まれております。

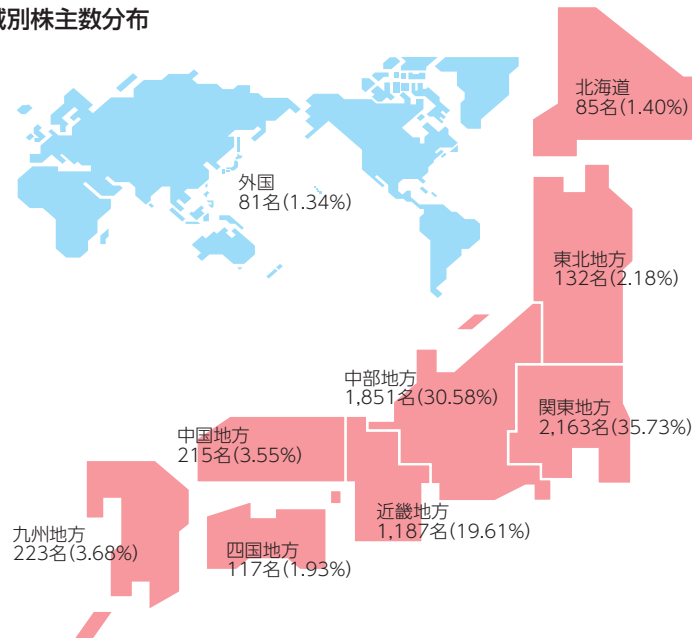
所有者別株式数分布



所有株数別株式数分布



地域別株主数分布



商号 小松ウオール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.)

設立 1968年1月22日

資本金 3,099,945,552円

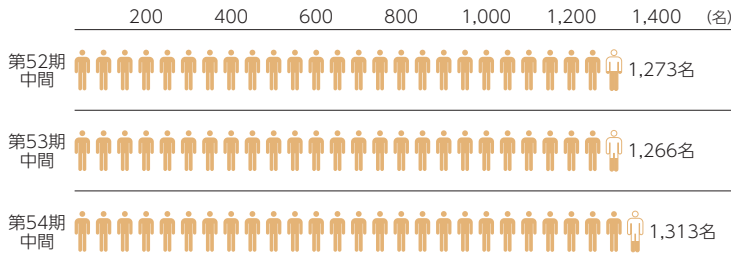
事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

従業員数 1,313名
(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー (計48名) は含まれておりません。

取締役

代表取締役社長執行役員	加納 裕
取締役常務執行役員	熊田 雅巳
取締役常務執行役員	山田 新一
取締役常務執行役員	加納 慎也
取締役執行役員	廣瀬 紀夫
取締役執行役員	綾 由紀夫
取締役	蜂谷 俊雄
取締役常勤監査等委員	金子 信一
取締役監査等委員	宮前 悟
取締役監査等委員	松木 浩一

従業員の状況



(注) 取締役 蜂谷俊雄氏、宮前悟氏および松木浩一氏は社外取締役であります。



本社社屋

事業所

本社・工場

本第	一	工	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3131(代)
第第	二	工	〒923-8643	小松市工業団地一丁目6	☎(0761)21-3133(代)
第第	三	工	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3374(代)
加	賀	工	〒923-8643	小松市工業団地二丁目16	☎(0761)23-5191(代)
			〒923-8643	加賀市新保町式51番1	☎(0761)74-2311(代)

支店・営業所

札幌	支	店	〒063-0836	札幌市西区発寒十六条四丁目1-11	☎(011)668-3811(代)
仙台	支	店	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)788-2181(代)
仙台	支	店	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)237-1151(代)
新潟	支	店	〒950-0951	新潟市中央区鳥屋野314	☎(025)283-1595(代)
さい	支	店	〒379-2145	前橋市横手町809	☎(027)226-6601(代)
さい	支	店	〒331-0811	さいたま市北区吉野町一丁目39-1	☎(048)664-3781(代)
さい	支	店	〒331-0811	さいたま市北区吉野町一丁目39-1	☎(048)782-6861(代)
東京	支	店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2351(代)
東京	支	店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2951(代)
東京	支	店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2961(代)
横浜	支	店	〒231-0023	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル13F	☎(045)222-8511(代)
横浜	支	店	〒231-0023	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル13F	☎(045)306-7751(代)
松本	支	店	〒390-0874	松本市大手三丁目4-5 明治安田生命松本大手ビル3F	☎(0263)87-7011(代)
名古屋	支	店	〒467-0852	名古屋市瑞穂区明前町17-7	☎(052)819-6021(代)
名古屋	支	店	〒467-0852	名古屋市瑞穂区明前町17-7	☎(052)829-1811(代)
京都	支	店	〒612-8393	京都市伏見区下鳥羽渡瀬町132	☎(075)621-1611(代)
大阪	支	店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀二丁目2-4 土佐堀ダイビル3F	☎(06)6447-0971(代)
大阪	支	店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀二丁目2-4 土佐堀ダイビル2F	☎(06)6447-9261(代)
神戸	支	店	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町一丁目1-3 神戸クリスタルタワー 21F	☎(078)361-7111(代)
神戸	支	店	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町一丁目1-3 神戸クリスタルタワー 21F	☎(078)361-7011(代)
広島	支	店	〒732-0822	広島市南区松原町5-1 ビッグフロント広島タワービル7F	☎(082)263-7911(代)
福岡	支	店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前四丁目2-20 博多駅前C-9ビル8F	☎(092)432-6311(代)
福岡	支	店	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092)409-8681(代)
青森	支	店	〒030-0861	青森市長島一丁目6-6 CROSS TOWER A・BAY4F	☎(017)732-3121(代)
盛岡	支	店	〒020-0051	盛岡市下太田下川原5-5	☎(019)613-7411(代)
郡山	支	店	〒963-0551	郡山市喜久田町字権現林39-13	☎(024)926-0861(代)
宇都宮	支	店	〒320-0026	宇都宮市馬場通り一丁目1-11 宇都宮TDビルディング3F	☎(028)612-2591(代)
水戸	支	店	〒310-0046	水戸市曙町10-1	☎(029)251-0601(代)
千葉	支	店	〒261-7126	千葉市美浜区中瀬二丁目6-1 ワールドビジネスガーデン マリブエスト26F	☎(043)299-6111(代)
東京	支	店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-5571(代)
八王子	支	店	〒192-0046	八王子市明神町四丁目7-14 八王子ONビル6F	☎(042)645-8911(代)
川崎	支	店	〒212-0013	川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル2F	☎(044)555-8211(代)
浜松	支	店	〒435-0016	浜松市東区和田町575-1	☎(053)411-8131(代)
岐阜	支	店	〒500-8856	岐阜市橋本町二丁目20 濃飛ビル7F	☎(058)251-1611(代)
津	支	店	〒514-0004	津市栄町三丁目143-1 笠間第2ビル2F	☎(059)253-4811(代)
大津	支	店	〒520-0056	大津市末広町1-1 日本生命大津ビル4F	☎(077)510-2611(代)
和歌山	支	店	〒640-8301	和歌山市岩橋字宮ノ段997-1	☎(073)473-7811(代)
奈良	支	店	〒630-8115	奈良市大宮町七丁目1-33 奈良センタービル2F	☎(0742)32-1311(代)
大阪	支	店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀二丁目2-4 土佐堀ダイビル3F	☎(06)6447-2111(代)
岡山	支	店	〒700-0945	岡山市南区新保679-7	☎(086)250-4511(代)
高松	支	店	〒761-0101	高松市春日町1601-1	☎(087)802-7011(代)
松山	支	店	〒790-0011	松山市千舟町三丁目3-8 千舟町スクエアガーデン4F	☎(089)961-1861(代)
北九州	支	店	〒802-0003	北九州市小倉北区米町二丁目1-21 APエルテージ米町ビル2F	☎(093)521-3911(代)
熊本	支	店	〒861-8005	熊本市北区龍田陳内三丁目12-1	☎(096)337-1711(代)
宮崎	支	店	〒880-0812	宮崎市高千穂通一丁目6-38 ニッセイ宮崎ビル6F	☎(0985)61-8011(代)
鹿児島	支	店	〒891-0115	鹿児島市東開町4-6	☎(099)260-2601(代)

施工部門

東京	統	括	〒134-0086	東京都江戸川区臨海町三丁目6-2	☎(03)3878-5591(代)
西日本	統	括	〒564-0014	吹田市吹東町67-1	☎(06)4860-9311(代)
仙台	サ	ー	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)788-2551(代)
さい	サ	ー	〒331-0811	さいたま市北区吉野町一丁目39-1	☎(048)664-3991(代)
横浜	サ	ー	〒222-0036	横浜市港北区小机町1911	☎(045)475-3931(代)
名古屋	サ	ー	〒467-0852	名古屋市瑞穂区明前町17-7	☎(052)819-6821(代)
京都	サ	ー	〒612-8393	京都市伏見区下鳥羽渡瀬町132	☎(075)621-1811(代)
南大阪	サ	ー	〒587-0002	堺市美原区黒山784-2	☎(072)361-5811(代)
神戸	サ	ー	〒652-0883	神戸市兵庫区明和通一丁目2-5	☎(078)652-3311(代)
広島	サ	ー	〒731-5123	広島市佐伯区五日市町大字昭和台28-5	☎(082)924-5771(代)
福岡	サ	ー	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092)623-8591(代)

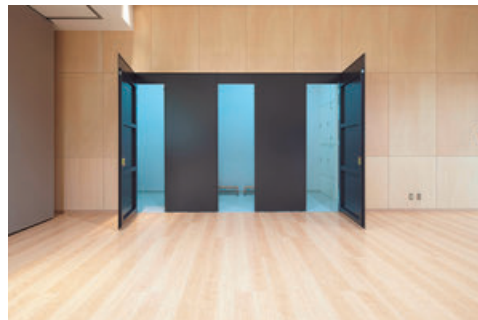
< 納入事例紹介 >

●図書館様

ホール内を、木目とダークカラーの壁面化粧鋼板パネルで美しく飾り、落ち着いた意匠で統一感を演出しました。間仕切収納庫においても意匠を統一しております。また、多目的室にはスムーズな走行性が自慢の遮音タイプの移動間仕切を納入させていただきました。



サーフィスウォール



マイティ-ACT



LW-60GB

●三井アウトレットパーク 木更津様

用途に応じて多目的スペースを分割することができる移動間仕切を納入させていただきました。トイレでは、凹凸のないシンプルなフラットフェイスな表面意匠のブースもご採用いただきました。



50VS



サニティ TB-TP

●かみす防災アリーナ様

軽やかに、そしてスピーディーに多目的ルームをシーンにあわせて分割・解放できる移動間仕切を納入させていただきました。



50VS(移動時)



50VS(セット時)

株式についてのご案内(株主メモ)

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告 (<https://www.komatsuwall.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引のある証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内店 舗)でもお取扱いします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできま せんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店	
注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

小松ウォール工業株式会社

石川県小松市工業団地一丁目72番地

URL <https://www.komatsuwall.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



古紙リサイクル配合率90%再生紙を使用

